

領域・小問ごとの分析	対 策 の 視 点
<p>4. 相似形の意味 正答率は57%である。相似を利用して拡大図を完成させる問題であるが、もとの点の対応点が見つけれられない児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相似な図形の作図を数多くさせたい。
<p>5. 基本的な柱体の概念 正答率は63%である。五角形と答えたものが多く、平面図形と立体図形を混同している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 模型などを十分活用し、空間における図形としての特徴をとらえさせる。
<p>6. 基本的な柱体の概念 正答率は70%である。誤答を見ると、面が皆正方形であるために、平行になる面が見つけれにくかったようである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 展開図を書かせたり、立体模型を作らせることが必要である。
<p>領域③（図形）について 図形の指導では、教科書の図を使ったり、立体模型を使用しているか観念的な指導になりやすい。もう一歩進んで、展開図を作図させたり、立体模型を作るなど、児童の身体を通しての指導がほしい。</p>	
領域・小問ごとの分析	対 策 の 視 点
<p>④ 数量関係 1. 比で表す 正答率は80%で、よく理解されている。</p>	
<p>2. 比 (1) 簡単な整数の比に直す 正答率は30%と低い。無答が多く、分数の比の簡約化がよく理解されていないように思われる。 (2) 比の値 正答率は36%と低く、無答が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分数・小数の比を簡単な整数に直す指導では、単なる操作だけでなく、比の性質を用いることによって、その操作が出来ることを理解させたい。 用語「比の値」の意味をよく理解させたい。